



## 体育専門アドバイザー 来校 ～専門的な見地から指導いただきました～

3日4日と福島県教育庁県北教育事務所の「小学校体育専門アドバイザー派遣事業」を活用し、星田弘祐先生に来ていただきました。1学期にも来ていただいておりますが、先生方にも、子ども達にも好評だったこともあり、2学期にもお出でいただき、体育の指導をしていただいた次第です。せっかくの機会ですので、各学年で子ども達の実態をみながら、指導を受けたい内容を選び、授業を行っていただきました。鉄棒運動、走り幅跳び、跳び箱運動、マット運動、ハードル走と多岐にわたる指導を受けましたが、どの学年も熱心に取り組み、1時間の中で見る間に動きが変わっていく子もいました。星田先生には、授業時間はもちろん、休み時間やクラブ活動でも積極的に子どもと関わっていただきました。汗びっしょりになって子どもと関わる姿には本当に頭が下がりました。さらには、器械運動の高度な技を披露してくれたり、子どもにとってあこがれの存在にもなっていたようでした。今後も、機会があればまたお出でいただきたいと思っています。本当にありがとうございました。



## 授業技術を磨く ～校内授業研究会～

教師は、なんといっても「授業」が生命線。日々の授業の充実こそが子ども達の学力向上に直結するものであるという認識を、すべての教師はもっています。そして、授業の技術を磨くことは、教師である以上日々取り組まなければならない研修テーマであると捉えています。

毎年、学校では、テーマや研究する教科等を決めながら、教員同士で授業を見合い、授業技術を磨く「校内授業研究会」を実施しています。今年度は、コロナ禍の中にあり、なかなか実施できませんでしたが、ようやく4日、今年度初めての授業研究会を実施することができました。

今回の授業は6年1組の算数。真剣に授業に取り組む子ども達の姿と教師の関わりから授業の技術について研修しました。

これから、全学級で授業研究会を行っていく予定です。

**保護者の皆様からの声をお待ちしています。**

～学校に対するご意見・ご感想等お気軽にお寄せください（または [assist.nihonmatsukita-e@fcs.ed.jp](mailto:assist.nihonmatsukita-e@fcs.ed.jp) まで）～

----- 切り取り線 -----